

■ 事後評価(社会資本総合整備計画)

土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進  
(防災・安全)



社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	4 土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	香川県
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、土砂災害が発生するおそれのある区域等を明らかにすることで、県民の安心・安全な生活の確保を図る</li> </ul>		

1. 事業効果の発現状況 : 一定の効果があった

平成26年度までに基礎調査が完了した土砂災害警戒区域等において、対策施設等の整備により地形の改変があった箇所について見直し基礎調査を実施した。基礎調査の結果区域の変更が生じる場合、土砂災害から国民の生命及び身体を保護することを目的とし、土砂災害が発生するおそれがある土地の区域を明らかにするため、区域の更新を行う予定である。

計画の成果目標（定量的指標）	2巡目の基礎調査として施設整備の完了した箇所や地形が改変された箇所の見直しの基礎調査を、令和2年度末までに200箇所実施する。		
----------------	-----------------------------------------------------------------	--	--

定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考				
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)						
施設整備完了等に伴う見直し基礎調査	目標値： 達成値：	0 箇所 0 箇所	100 箇所 114 箇所	200 箇所 250 箇所	125.0%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	90百万円	A	90百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%	進捗率 (事業費ベース)	100.0%
実施事業費	合計 (A+B+C)	90百万円	A	90百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%		

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
									H28	H29	H30	R1	R2				
A08-001	総合治水	一般	香川県	直接	香川県	香川東部圏域総合流域防災事業	基礎調査	東かがわ市ほか						45	45	100.0%	
A08-002	総合治水	一般	香川県	直接	香川県	土器川圏域総合流域防災事業	基礎調査	丸亀市ほか						18	18	100.0%	
A08-003	総合治水	一般	香川県	直接	香川県	香川西部圏域総合流域防災事業	基礎調査	観音寺市ほか						27	27	100.0%	

<p>要素事業の事業進捗</p> <p>計画通り進捗（概ね計画通り進捗 ・ 進捗が不十分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画通り進捗している。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>2. 今後の方針</p> <p>継続（計画見直し ・ 完了）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高精度の地形データを用いた基礎調査を実施する。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

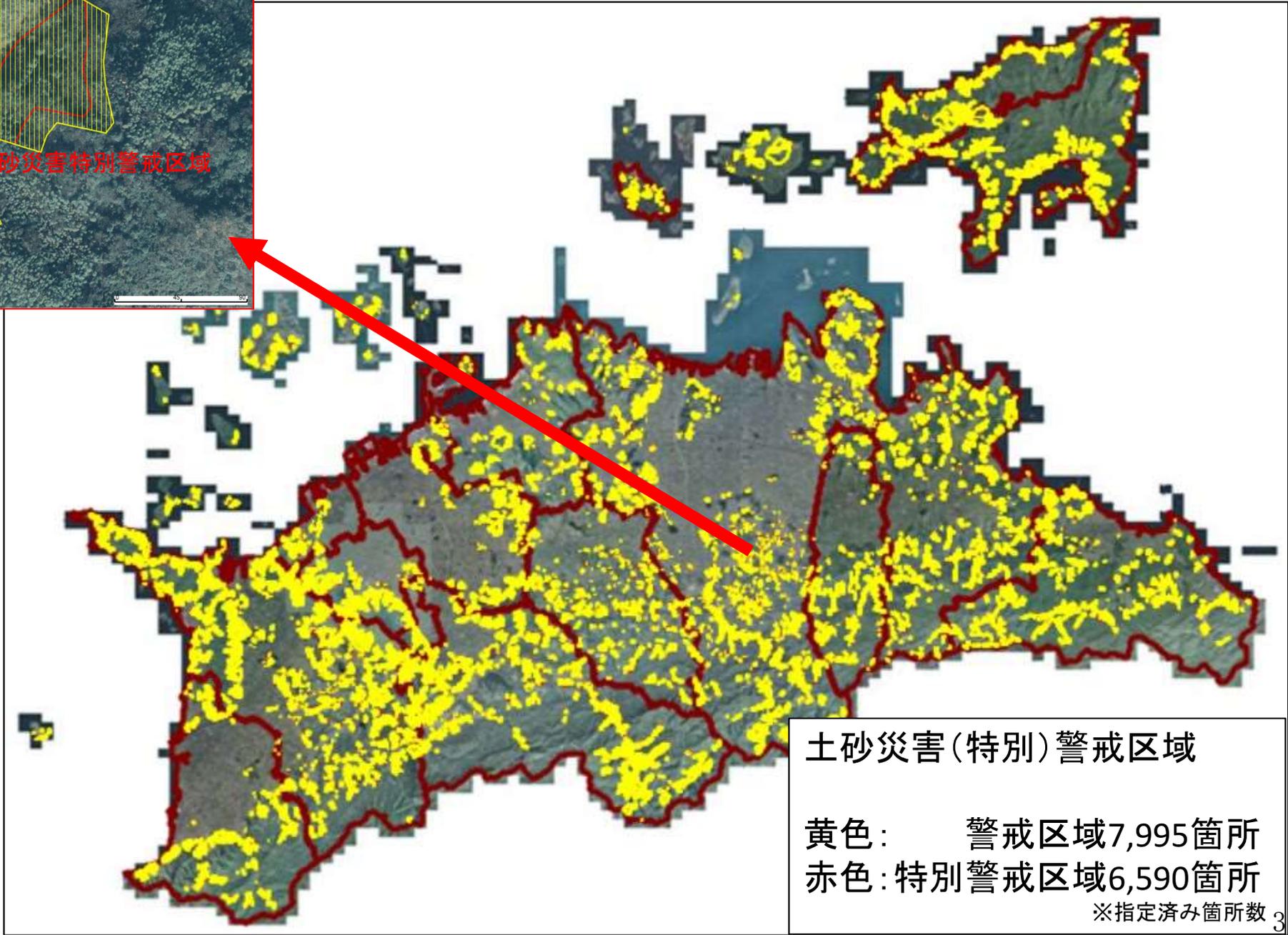
## 事後評価書参考資料

### ■ 事後評価(社会資本総合整備計画)

# 土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進 (防災・安全)

河川砂防課

# 位置図



土砂災害(特別)警戒区域

黄色： 警戒区域7,995箇所  
赤色：特別警戒区域6,590箇所

※指定済み箇所数 3

# 事業概要

## ■基礎調査(現地調査)



## ■公表・告示に係る資料例(区域調書)

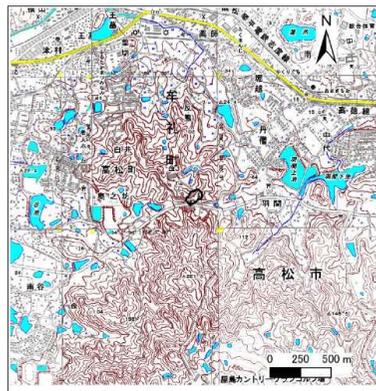
土砂災害防止に関する基礎調査(急傾斜地の崩壊)

表紙 概況、位置図

自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	I-208
箇所名	丹僧(5)
所在地	高松市牟礼町大町
調査機関	香川県高松土木事務所



位置図 (S=1:200,000)



概況図 (S=1:25,000)

香川県

### 急傾斜地の崩壊区域調書

様式2-1 地形・地質状況等		箇所番号	I-208	箇所名	丹僧(5)	所在地	高松市牟礼町大町	調査年度	平成29年度
地形状況	急傾斜地の地形	当該斜面は自然斜面であり、斜面形状は凸型となっている。							
	危害のおそれのある土地等の地形(様式2-2、2-4参照)	斜面下方には公共建築物が位置している。							
地質状況等	地表の状況	表層は砂質土で覆われ、植生は広葉樹となっている。							
	地盤の状況	基盤の地質は深成岩であり、表層は砂質土主体の砂質土からなる。							
	その他の状況	特になし。							
	土質定数等	項目	設定値	設定根拠					
	土石等の比重 $\rho$	2.6	香川県基礎調査マニュアルに準拠						
	土石等の容積濃度 $C$	0.7	香川県基礎調査マニュアルに準拠						
	土石等の密度 $\rho_m$ (t/m <sup>3</sup> )	1.8	香川県基礎調査マニュアルに準拠						
	土石等の単位体積重量 $\gamma$ (kN/m <sup>3</sup> )	18.00	香川県基礎調査マニュアルに準拠						
	土石等の移動時の内部摩擦角 $\Phi(\circ)$	30	香川県基礎調査マニュアルに準拠						
	土石等の地盤時の内部摩擦角 $\Phi(\circ)$	30	香川県基礎調査マニュアルに準拠						
	土石等の流体抵抗係数 $\beta$	0.025	香川県基礎調査マニュアルに準拠						
	土質定数設定根拠等特記事項 香川県基礎調査マニュアルに準拠								
対策施設等状況	有	対策施設の有無は様式2-3、精度は様式2-4参照							
過去の災害実績等	無	発生件数 0 詳細は様式2-5参照							
想定される崩壊土量・幅及び深さ	(1)災害実績調査に基づく方法	統計的に推定した。						設定根拠	
	(2)当該斜面の変状地形に着目した方法	統計的に推定した。						香川県基礎調査マニュアルに準拠	
土石等の移動の高さ	単位	mm(m)						1.00	
	設定根拠	香川県基礎調査マニュアルに準拠							

香川県